



学校だより

学校教育目標

元気な子 (心と体すくすく)
進んで学ぶ子 (学びわくわく)
豊かにかかわる子 (人とにこにこ)

令和5年11月1日

第512号

児童数 580名

運動の楽しさや喜びを味わい、主体的に運動に取り組むなみきっ子



校長 岩澤 奈々子

朝晩大変涼しくなり、とても過ごしやすい季節となりました。10月の生活目標は「進んで読書をしよう」でした。ゆっくり落ち着いて本を読むのに適した季節のため、読書運動強化月間と定めて全校で取り組みました。各自や各学年で設定した目標を達成した子供たちには、校長室にて私からシールやスタンプあげて頑張りを称えました。1か月間で、延べ84人が目標を達成したと報告に来てくれました。目標を達成しているけれど校

長室に来ていない子供たちもたくさんいるように思います。ご家庭でも、読書について話題にいただき、まだ校長室を訪れていないお子さんがいらっしゃいましたら、校長室に頑張りを見せに行くように伝えてください。さらに子供たちは、年間を通じて定期的に教室にいらっしゃるボランティアの方からの読み聞かせにも真剣に耳を傾けています。優しい語り口での読み聞かせは、一日のスタートに落ち着きと穏やかさを与えてくださっています。子供たちには引き続き、本の世界から様々な思考を巡らせていってほしいと思っています。

さて、本校では2年間にわたり「運動の楽しさや喜びを味わい、主体的に運動に取り組む児童の育成」を研究主題として取り組んでまいりました。令和元年度末、新型コロナウイルス感染症が流行し、一斉休校等これまで経験したことのない生活が長く続きました。その後も、一堂に会する活動や友達同士のコミュニケーションを図る機会に制限がかかり、体力の低下がより顕著になりました。生涯を健康に過ごすための基礎をつくる重要な時期に、様々な活動の制限を受けた子供たちに心や体の基盤となる体力を向上させたいという思いから、体育の授業を中心に「運動の特性や魅力を味わわせる」「学ぶ必要感を感じさせる」ことを手立てとして工夫を重ねてきました。

文部科学省の調査では、体育の授業を楽しくするためには、友達との交流の機会を増やし、個々の発達の段階、発達ペースに見合った学習活動が有効であり、これらを通してより多くの達成感やそれに伴う楽しさを積み重ねることが重要であると示唆されています。また、体育の授業が楽しいと感じている児童においては、「運動が好き」の割合が高くなる傾向も確認されています。本研究を通して運動が好きという意識を育み、友達との良好な人間関係を築くことにより自己肯定感や自己有用感を高め、よりよい人生が拓かれていくことを願っています。保護者や地域の方々には研究発表の様子を直接ご覧いただくことはできませんが、運動会の子供たちの様子から、運動の楽しさや喜びを味わう姿、主体的に運動に取り組む姿を見て、感じていただけたことと思います。なみきっ子の生き生きとした姿を大勢の方々にご覧いただき、研究の成果を広く発信してまいります。



令和5年度

地域に愛されて70年 みんなの並木小学校



祝 開校70周年 川口市立並木小学校

